



衆議院議員

## 井林辰憲

「両親の『恩』だけは決して忘れないで」

**私**は現在36歳です。私の20歳の頃と比べて、このように立派な成人者が87名いらっしゃると川根本町の将来に明るい希望があると思っています。

**二** ユースを見ていると、これらの人生、暗いニユースばかり紹介されていますが、そうではなくて、これから皆様方と一緒に頑張って一生懸命に行動を起こしていけば、この地域、この日本を必ず良くしていくチャンスが数多くあると思っています。ピンチをチャンスと捉えて、これから皆さんと一緒に頑張って日本を良くしていきたいと思っています。

**そ** として皆さん、どうかここにいらっしゃる御両親の『恩』というものだけは、決して忘れることなくこれからの人生を歩んでいってください。

「どんな夢を  
持っていましたか？」

**僕**は今、中川根第一小学校の6年生です。6年生は全部で17人です。みんなで力を合わせて行った行事はとても楽しく、一年の思い出となる宝物です。皆さんにとって小学校6年生の一年間は、どんな一年でしたか？どんなことを考えていましたか？また、どんな夢を持っていましたか？とても聞いてみたいです。そして8年後の今、その夢はどうなっていますか？僕の夢はたくさん勉強し、人の役に立てるような仕事につくことです。

**僕**には、いま皆さんがとてもかっこよく、そしてきれいに見えます。僕も8年後、この町で成人式を迎えることになりませんが、そのときは自分の夢に向かって努力し、皆さんのように魅力のある大人になりたいです。



中川根第一小学校6年

## 中村魁人

「夢に向かって努力する  
皆さんを追いかけます」

**僕**の好きな言葉に、詩人『あいだみつお』さんの「夢は深く、根は深く」という言葉があります。「大きな夢を持ちたいなら、根が深くならなければいけない。根が深くなればなるほど夢は大きくなる」という意味です。

**ふ** るさと川根本町というすばらしい町で力を伸ばし、深くしっかりとした根っこを張ることができた皆さんだからこそ、困難にも負けずにそれを乗り越え、自分の夢に向かって努力することができる、僕は今、そんな先輩方を追いかけています。

**僕**には教師になるという夢があります。夢を実現できるように、この町で皆さんに負けないぐらいしっかりとした根っこを張れるよう、一生懸命努力したいと思います。



本川根中学校3年

## 宮島大樹

「私たち後輩の  
良きお手本です」

**私**が成人と言う言葉からイメージするのは選挙権です。先日、衆議院議員総選挙が行われ、政権が交代するという大きな変化がありました。私たち高校生は結果をニュースで聞くことしかできませんでした。一人の大人として一歩先に政治へ参加できる皆さんへあこがれを感じます。

**私**も将来は、皆さんのような立派な成人になりたいと思います。そのためにも、勉強と部活の両立はもちろんのこと、将来を見据えて進路のこともしっかりと考えていきたいと思います。

**今**、皆さんは大学へ通っている方や就職し働いている方などさまざまな立場の方がいると思います。私たち後輩の良きお手本としてそれぞれの道でご活躍ください。



県立川根高等学校2年

## 秋元良太

**私**は、今看護師になるために大学に通っています。大学に入學して、もうすぐ2年が経とうとしています。私は、幼い頃からお年寄りや小さな子どもと接することが大好きでした。そんなお年寄りの方や小さな子どもたちといつも接することができ、その方たちの役に立つ仕事がしたいと思い、看護師を目指すことに決めました。

**看**護師として働くということ、患者本人だけでなく、家族やその周りの方々、さらには職場の人とのコミュニケーションがととても大切になります。今まで以上にコミュニケーション能力を高めるために、たくさんの人たちと接するように心掛けたいです。

**川**根本町を離れてみると、改めてこの町の良さを感じます。この町は、人々の温かさに包まれています。そんな環境の中で、大学までの18年間過ごせたことを誇りに思います。そして、私はつくづくこの川根本町が大好きなんだと感じます。いつかこの町に戻ってきて、皆さんの役に立てるような立派な看護師になりたいです。それから今まで私を支えてくれた家族、友達、先生方、地域の方々、すべての人に感謝して、大人としての自覚や責任感、強い志を持った人間になることを目標に努力していきたいです。そのために、今自分のできることを精一杯行い、思いやりと感謝の気持ちを忘れず生活するように心掛けたいと思います。

思いやりと感謝の気持ちを  
持ち続け、看護師を目指す



【新成人の主張】

渡邊愛理 (徳山)

## 輝87stories【祝成人】

**私**は今、浜松にある静岡文化芸術大学で、文化政策を学んでいます。私は農村地域の抱える諸問題に興味があり、3年生で行われるゼミでは、実際に集落を訪問して農業に触れてみたり、フィールドワークを行ったりするつもりです。そして、それらの研究を通して自分なりの意見や論を持ちたいと考えています。

**私**が、赤石太鼓での活動を通して「感謝の心を通し」て学んだことは「感謝する心」です。実際に私たちはジュニアコンクールの時、指導者の方から「感謝の心を忘れるな」と学び、そのことで全国大会で結果を得られました。また、「皆に感謝し、感動を伝えよう」のスローガンのもと開催された、昨年の30周年記念公演は大成を収め、会場は大きな感

感謝する心を忘れずに  
地元で貢献できる大人を目指す



【新成人の主張】

中原僚介 (千頭東)

動に包まれました。つまり、感謝の心がかもった演奏は、必ず相手も感動させるのです。「私たちはたくさんの人たちに支えられているんだ」という謙虚さを、これからも赤石太鼓は持ち続けて欲しいし、私も決して忘れません。このように、太鼓を通して学んだ全てのことは、私の人生の財産であり、宝です。私はこれからずっと、赤石太鼓に関わっていきたくし、川根本町がもっと盛り上がるように協力していこうと思います。

**今**日という日を迎えるまで、お世話になった全ての方々、心より感謝申し上げます。今の気持ちを忘れずに、さまざまなことに挑戦し、いつか地元で貢献できるような大人へと成長したいと思っています。